



新たにオンラインでの
受講も設けました！！

令和3年3月9日
京都市保健福祉局

担当：地域リハビリテーション
推進センター（相談課）
電話：8 2 3 - 1 6 5 8

令和3年度「高次脳機能障害 入門講座」前期の開催について

医療の進歩に伴い、脳出血や脳外傷後に救命されたものの、言語や記憶、注意、感情のコントロールといった脳の認知機能の後遺症をもつ高次脳機能障害のある方が増えています。一方、高次脳機能障害の認知度は高くありません。

そこで、高次脳機能障害のある方への理解を深めていただき、支援の輪を広げることを目的に、「高次脳機能障害 入門講座」を開催します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来からの会場での受講に加え、新たにオンラインでの受講（YouTube での動画視聴）も設けます。

記

1 令和3年度 受講日程、前期 テーマ（各テーマ、1回のみの参加も可能です。）

会場受講の開催日	オンラインでの受講可能期間	テーマ
5月21日（金）	5月21日（金）から1週間	1「高次脳機能障害 概説」
6月18日（金）	6月18日（金）から1週間	2「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」
7月16日（金）	7月16日（金）から1週間	3「社会的行動障害について」
8月20日（金）	8月20日（金）から1週間	4「失語症について」
9月17日（金）	9月17日（金）から1週間	5「就労に向けて」

※講座時間は各回、約1時間程度。会場受講の開催時間は、各回とも午前10時～午前11時。
※後期（10月～2月）にも同様の講座の開催を予定しています。

2 会場（※会場受講の方）

京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室
（京都市中京区壬生仙念町30番地）

3 対象者

市内に在住の高次脳機能障害のある方やその御家族及びその支援者
高次脳機能障害に関心がある市内に在住、在職、在学の方

4 定員

会場受講は先着30名、オンラインでの受講は定員なし

5 申込方法

別紙「高次脳機能障害 入門講座」チラシ裏面にある申込書に必要事項を記入し、FAXにてお申し込みください。（電話、メールによる申込みも可。メール申込みの場合は、メールの件名に【入門講座申込み】と記載。）

FAX：（075）842-1541 電話：075-823-1658

申込専用メールアドレス：rehabili-sodan@city.kyoto.lg.jp

※申込期間は、令和3年3月9日（火）から各講座開催日の2日前まで。

6 参加費 無料

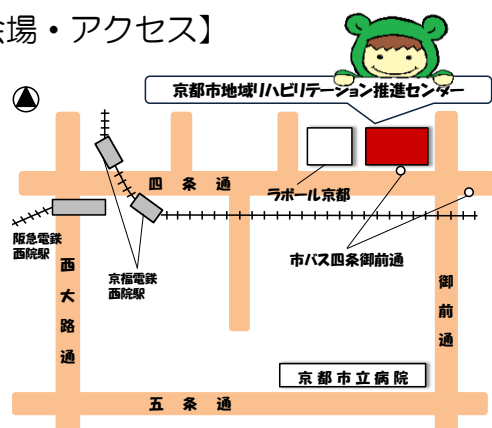
7 オンラインでの受講について

- ・オンラインでの受講をお申込みの方のメールアドレスに、各講座の YouTube 視聴用 URL を送ります。
- ・YouTube 視聴にインターネット等の通信料が必要な場合は、受講者の御負担となります。

8 新型コロナウイルス感染対策について

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、会場受講の開催を中止する場合があります。最新情報は、京都市高次脳機能障害者支援センターのホームページに掲載しますので、御確認ください。
- ・参加者同士の身体的距離の確保のため、会場受講の定員を30名に減らしています。
- ・会場内の机・椅子等は消毒を実施し、適宜、換気を行います。
- ・会場受講の方は、当日に各自、検温の上、発熱や風邪の症状がある場合は、来場をお控えください。
- ・来場時には、マスクの着用をお願いします。また、受付時に手指の消毒と検温を実施しますので、御協力をお願いします。

【会場・アクセス】



京都市地域リハビリテーション推進センターの
キャラクター「地域ガエル」

■市バス 四條御前通 下車すぐ

■阪急電鉄 西院駅から 徒歩約3分
(北改札口・南改札口)

■京福電鉄 西院駅から 徒歩約3分

※公共交通機関を御利用ください

【京都市高次脳機能障害者支援センター ホームページ&Facebook】

ホームページ : <http://koujinoukinou-city-kyoto.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/koujinoukinou.city.kyoto>



(ホームページ) (Facebook)

(参考) ～高次脳機能障害とは？！～

後天性の脳の病気(脳卒中、脳炎等)や交通事故等で脳が損傷を受けた後、注意障害・記憶障害などの後遺症が生じ、以前できていたことができなくなるなど、日常生活や社会生活に支障をきたすことがあります。

京都市では平成27年7月に、京都市地域リハビリテーション推進センター内に「京都市高次脳機能障害者支援センター」を開設し、高次脳機能障害のある方やその家族、支援者に対する相談支援と、高次脳機能障害についての普及啓発に努めています。



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。